

第二回 甲府文と芸の会 公演

谷崎潤一郎

母を恋うる記



「母を恋うる記」は、夢の中で子供に戻った（私）が幻のように明るい夜に海辺近くの街道を歩いて母を探しにいく話です。亡くなった実母への谷崎の深い思慕が綴られています。

公演の第一部は夢の文学に関する講座、第二部は有馬真胤とエイコが小説の言葉そのものを語る芝居によって谷崎潤一郎の夢の世界を上演します。



■期日 2026年 **11月15日** [日]

開場 13:30 開演 14:00 終演予定 15:30

■会場 **こうふ亀屋座** 甲府市丸の内一丁目 11 番地 5 号

■主催 甲府文と芸の会 (電話 070 - 8936 - 7101)

■内容 第1部：講座「夢の文学－志賀直哉・谷崎潤一郎・芥川龍之介」
小林一之（山梨英和大学特任教授）
第2部：芝居「母を恋うる記」
有馬真胤（有馬銅鑼魔主宰）・エイコ

■料金 **無料** (要申込 先着 100 名)

■申込 10月1日から〈偶景 web〉内のフォームで受付開始

※ 偶景 web <https://guukei.blogspot.com/> QR コード▶

